

自然災害に備えよう

6月は土砂災害防止月間

平成27年9月に、本市では大雨による土砂災害が発生し、土砂が流出するなどの被害がありました。

また、4月に発生した熊本地震でも、大規模な土砂災害が発生し、甚大な被害をもたらしています。

自然災害は止めることができません。私たちができることは、被害を最小限にすることだけです。

6月は土砂災害防止月間です。この機会に、自分自身の問題として、防災について考え、家族で確認してみてください。



▲平成27年9月に発生した本市の土砂災害(下野萩の道)

自然災害に備えよう

自然災害には、台風や大雨などによる風水害や土砂災害、突発的に発生する地震などがあり、人間の力では食い止めることができません。被害を最小限に抑えるために、日ごろからこれらの災害に備え、正しい知識を持ち、準備しておくことが大切です。

今回は、これから梅雨や台風の時期によって発生しやすくなる土砂災害に関する知識や、自然災害が発生した際の準備・対策について紹介します。

土砂災害から身を守る

大雨が続くと、右下のイラストの通り、がけ崩れなどの土砂災害が発生しやすくなります。

気象台が発表する土砂災害警戒情報に注意するなど、情報を把握し、非常用持ち出し品の事前準備や、安全な避難路を確認しておくなど、適切な対策や避難を行います。



早めに避難を

洪水や土砂災害の危険が予想される区域内にお住まいの人は、災害の前触れを感じたときは、早めに自主避難することが大切です。また、高齢者や病人、障がい者のいる家庭も、早めに避難しましょう。

土砂災害防災訓練

▽日時 6月5日(日)正午
午後4時
▽会場 桜田公民館(新里町)

ハザードマップ

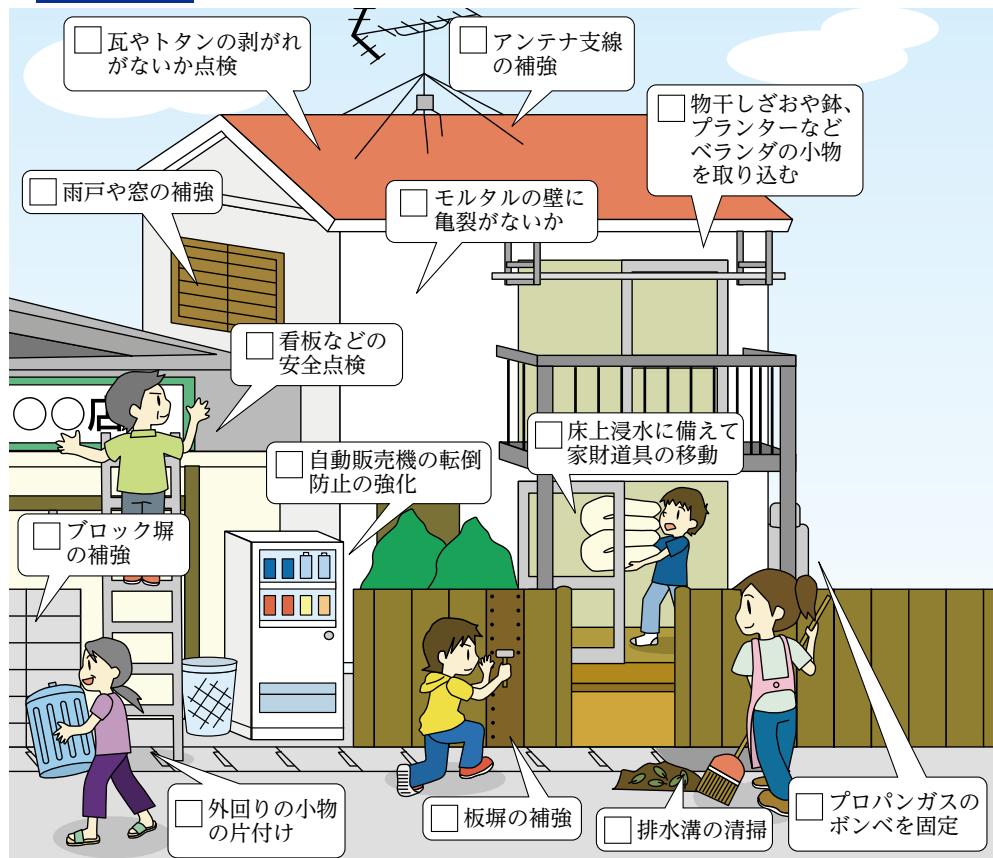
市では土砂災害の恐れのある区域や避難場所などの情報を掲載した「土砂災害ハザードマップ」を作成しています。河川課(市役所9階)や各地域自治センター・地区市民センターで配布している他、市ホームページからも閲覧できますので、避難場所や避難経路の確認などに活用ください。

※土砂災害防止月間 昭和57年7月の長崎大水害をきっかけに、土砂災害防止に関する国民の理解と関心を深めるために国土交通省(旧建設省)により、昭和58年に制定されました。

家

の周囲の備え 災害を最小限にするために

皆さんの家庭では、台風や大雨に対する備えは万全でしょうか。家の中や周囲をしっかりと点検し、いざというときに備えましょう。



防災は日常の備えが大切

防災とは災害に備えることです。そのためには、正しい知識と防災物品、そして災害後の自力生活に耐える技術の大きく3つの備えが重要です。日頃から備えることで、被害を最小限に食い止められるよう、改めてチェックしてみましょう。

また、「わが家の防災マニュアル」では、さらに詳しい情報を掲載しています。各地域自治センター・地区市民センター・出張所などに置いてある他、市ホームページからも閲覧できますので、ご活用ください。

特集 ③

2次持出品 災害後に備えるために

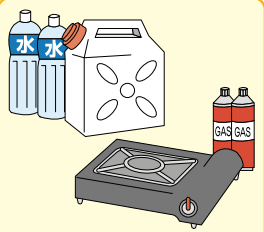
災害復旧までの数日間を自活するためのもの。少なくとも、災害後3日間は自活できるように準備をしておきましょう。

1次持出品 最低限そろえておきたいもの

避難するときに持ち出す最小限の必需品。すぐに取り出せる場所に保管することも大切です。

水

飲料水は大人1人当たり、1日3リットルを目安に準備。ペットボトルのほか、ポリ容器に水をためておくと便利。



燃料

卓上こんろや固形燃料、予備のガスボンベなど。

その他

毛布、寝袋、洗顔用具、ラップ、食器類、使い捨てカイロ、ロープ、バール・スコップなどの工具、マスク、トイレットペーパー、予備の眼鏡、ドライシャンプーなど。

食品

缶詰やレトルト食品、ドライフーズなど、そのまま食べられるものや、簡単な調理で食べられるものを準備。チョコレートやあめ、梅干しなども。



懐中電灯

できれば1人に1つ用意。予備の電池と電球も忘れずに。

携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるものがよい。予備の電池は多めに。

貴重品

現金、預・貯金通帳、印鑑、健康保険証など。

救急医薬品

傷薬、ばんそうこう、解熱剤、風邪薬、胃腸薬、目薬など。常備薬があれば忘れずに用意。

非常食・水

乾パンや缶詰など、火を通さずに食べられるもの。水はペットボトル入り。乳幼児がいる場合は、粉ミルクとお湯も忘れずに。



平成28年熊本地震への本市の対応

- 支援物資 △大分県由布市へ提供 ペットボトル飲料水10,000本、アルファ米6,000食、クラッカー15,000食など▽熊本県阿蘇郡産山村へ提供 幼児用オムツ6,000枚、成人用オムツ1,500枚▽熊本県八代市へ提供 アルファ米6,000食、ブルーシート100枚。
- 職員の派遣 △熊本県菊池市(住民の健康相談など4

- 月23日~5月11日) 保健師3人▽熊本県南阿蘇村(災害対策本部運営など4月29日~5月9日、5月12~31日) 事務職員6人。
- 募金 本庁舎や各地区市民センターなどの窓口で募金箱を設置。
- 市営住宅の提供 住宅が被災し住宅に困窮している人々を対象に、生活再建を支援するため、市営住宅を提供。
- ☎危機管理課☎(632)2052 (5月18日現在)

☎土砂災害についての問い合わせは、河川課☎(632)2686、宇都宮土木事務所☎(626)3123へ。
☎防災についての問い合わせは、危機管理課☎(632)2053へ。